

## 令和7年度第三壮行式校長激励のことば

一日の努力は、薄紙一枚程度に過ぎない。だからそれをじっくりと時間をかけて積み重ねていくしかない。人の成長は、じわじわと、じわじわと実現していくものです。

ところが、若さとは恐ろしいもので、高校生が、たった一度の経験によって一足飛びに成長を見せる現象が往々にして生じます。

東北大会に出場する水泳部の榎並君。そして全国高総文祭に参加するサイエンスクラブの坪君、山口さん。これから、各県の大会を勝ち抜いてきたすごい人たちがひしめく場に立つことになる。誰もが立てるわけではない、特別なステージに立つことになる。きっとこの経験は、あなたたちを二段階も三段階も上のレベルに引き上げてくれることと思います。大会の雰囲気、プレッシャー、全て素晴らしい経験なのだと思います、大会を楽しんでください。

そして硬式野球部。テレビ等の報道で生徒の皆さんもご存じのとおり、今年の全国高等学校野球選手権青森大会開会式の選手宣誓は、本校野球部主将の3年飛内樹人（とびない・みきと）君が行うことになりました。

すごい。何がすごいのか。選手宣誓は、志願制なんです。まずそこに志願した、挑んだのがすごい。選手宣誓は、準備から何からものすごく大変なものなのだと思います。もちろん本番のプレッシャーはものすごいものがある。周囲には大変だからやめておけという声もあったようです。その声を振り切って応募した。志願者は毎年多数となりますから抽選になります。それなのに、みごと引き当てた。

これはラッキーとはいいいません。自らつかみにいって、見事に勝ち取ったものです。運命の扉を自らこじあけた、私にはそのように思えます。

大湊高校硬式野球部の皆さん、若い力を存分に爆発させて大暴れしてください。扉は開かれました。期待しています。

令和7年7月1日

校長 伊藤文一